

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！

J R
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
NTT 054-284-3608
FAX 054-283-6365
発行責任者 山本繁明
2011年 5月31日 No.24

JR東海道本線・新幹線の20キロ圏浜岡原発の 永久廃止を！参院で石橋克彦氏などが参考意見

5月23日、国会の参議院行政監視委員会で、福島第1原発事故や原子力政策の問題点に関し、小出裕章氏（京大原子炉実験所）、後藤正志氏（原発プラント設計）、石橋克彦氏（地質学）、孫正義氏（ソフトバンク）の4人が参考意見を述べ、事故をめぐる行政の対応について辛辣な批判と具体的提案を示しました。

石橋氏は「早急に第三者機関を設立して日本列島の全原発についてリスク評価し、リスクの高いものから順次閉鎖していくべき。その筆頭は中部電力浜岡原発であり、東海地震による大きな揺れ、大きな余震の続発、地盤の隆起変形などすべてが恐ろしく、津波対策さえすれば大丈夫というものではない。浜岡以外も若狭湾原発群をはじめとして、閉鎖に向けていくべきだ！」と力説しました。後藤氏は「原子力をこれ以上進めるというのであれば、絶対にシビアアクシデントを起こさないことを証明する必要がある。しかし工学的にそのようなことは不可能である！」と断言しました。小出氏は「原子力を推進する側は、原発には多くの壁がある、特に第4の壁である格納容器が重要で、どんな時でも放射能を閉じ込める、格納容器は絶対に壊れないから、放射能が漏れるような事故を考えるのは想定不相当だと主張していた。ところが、実際に福島で破局的なそういう事故が起きてまだ進行中だ！」と怒りをあらわにしました。今回、政府が原発反対派である方々の意見を聞いたわけですが、一時しのぎ的なアリバイづくりではいけないと私たちは考えます。

私たちはこれらの意見を支持します。政府は専門家の意見を重く受け止めよ！！